

より良い 木の家づくりに

JAS
製材品って？

JAS製材品 をおすすめします！



「木の家づくり」は 低炭素社会実現に貢献

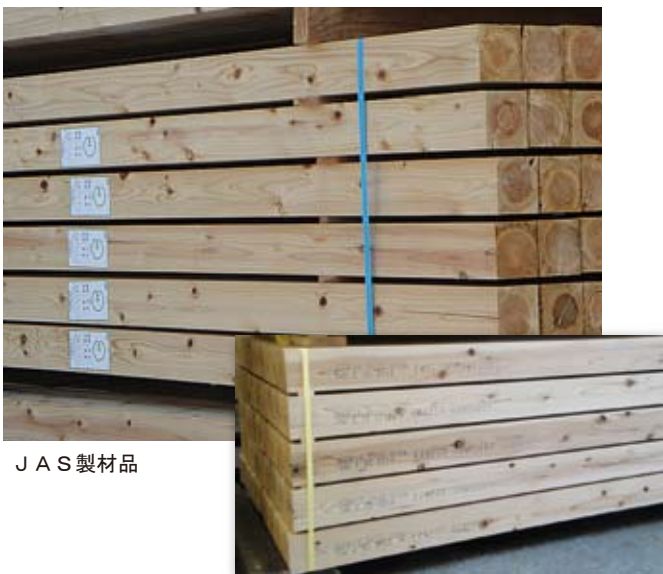
木材は、人と環境に優しい資材です。木材は二酸化炭素を固定しています。

平均的な木造住宅では約6 tの二酸化炭素が固定されており、「木の家づくり」は低炭素社会の実現に大きく貢献します。

木の家には柱、梁、間柱、土台、床、壁などに製材、集成材、合板、フローリングなど、いろいろな木材製品が使われます。



木の家にはさまざまなJAS製品が使われています。



JAS製材品

JAS製材品を使うと安心 品質・規格が明確なJAS製品

JAS製材品は、品質・規格を明らかにして出荷された製材品です。

この製品は、「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」（JAS制度）に基づき、認定されたJAS工場で厳しい品質・規格管理を行い消費者の皆様提供されており、安心してお使いいただけます。



JAS製品は、 木材の品質・規格が 明確にわかります。


目視等級区分による表示例

樹種名	スギ
 認定機関名	
構造材の種類	乙
等級	★ ★
寸法	$\overset{\text{mm}}{\circ} \times \overset{\text{mm}}{\circ} \times \overset{\text{m}}{\circ}$
乾燥処理	SD20
製造業者名	〇〇製材株式会社 製材工場

製材の品質・規格の概要

樹種	樹種名を表示	スギ、ヒノキ、カラマツなど木の種類を表示
製品の種類	目視等級区分構造用製材の用途による区分	梁（はり）、桁（けた）などの横に使用されるものは「甲」種、柱など縦に使用されるものは「乙」種と表示
等級	目視等級区分	目視で節、割れ、曲がりなどを評価して1級、2級、3級の3区分に表示（★★★★、★★、★） （注）等級区分、樹種ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定（構造計算に使われる強度）
	機械等級区分	機械（等級区分装置）で強度（ヤング係数）を測定し、等級区分（E50~150）を表示 （注）等級区分、樹種ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定（構造計算に使われる強度）
寸法	木材の木口の短辺、長辺、材長	正確な寸法を計測表示
乾燥	木材の乾燥度合（含水率）	機械で計測して SD（かなな掛けした乾燥材） D（鋸挽きしたままの乾燥材（表面が未仕上） 15、20、25という含水率を表示

機械等級区分による表示例

 認定機関名	スギ	SD-15	E-90	〇〇製材株式会社 製材工場
	$\overset{\text{mm}}{\circ} \times \overset{\text{mm}}{\circ} \times \overset{\text{mm}}{\circ}$	120 × 120 × 3000		

品質が
分かるから
安心だね



JAS規格に関するお問い合わせは

<製材>

一般社団法人全国木材検査・研究協会 03-6206-1255
 (社)北海道林産物検査会 011-251-7830

<合板、集成材、フローリング等>

(財)日本合板検査会 03-5776-2680

発行：

社団法人 全国木材組合連合会

〒100-0014
 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル6階
 TEL03-3580-3215 FAX.03-3580-3226
 URL <http://www.zenmoku.jp>
 Eメール info@zenmoku.jp